

歯科漢方医学



監修 歯科漢方医学教育協議会

編著 柿木保明 王宝禮 山口孝二郎

漢方薬は昔から使用されているが、近年8割以上もの医師が漢方薬を処方しているといわれており、漢方薬を服用している患者の歯科受診はこの先さらに増えていくと考えられる。

そこで本書では、歯科医師を目指す学生や初学者が漢方医学を体系的に学ぶことができるような基本的事項や、臨床の現場でも役立つ西洋薬との相互作用と有害作用などを簡潔にまとめた。

2017年4月から、歯学教育のコアカリキュラムに「和漢薬」が明記された。大学の授業では教科書として、一般歯科医院では治療に役立つ入門書である。

目次

第1章 漢方医学と西洋医学の違い

1. 自然医学としての漢方
2. 漢方医学の誕生
3. 漢方医学の変遷(中国、日本)
4. 漢方病態理論
5. 生薬と漢方の薬理学
6. 漢方の診断
7. 四診(望、聞、問、切)
8. 舌診
9. 統合医療としての漢方医学

第2章 口腔疾患に有効な漢方薬

1. 口腔内の疼痛
2. 歯周病
3. 粘膜疾患
4. 口腔乾燥症
5. 顎関節症
6. 三叉神経痛、顔面神経麻痺
7. その他

第3章 医科で処方される主な漢方薬

1. 漢方の投与禁忌例
2. 相互作用
3. 医科で処方される漢方薬

第4章 漢方薬と西洋薬の相互作用と有害作用

1. 漢方薬処方の作用と有害作用
2. 注意すべき生薬
3. 西洋薬との相互作用

第5章 漢方薬の選択方法

1. 弁証論治
2. 方証相対
3. 随証治療の必要性(病名漢方療法の功罪)
4. 「漢方薬薬効分類」と「効能または効果」

第6章 付録

1. 主な漢方薬と適応症
2. 生薬別の作用
3. 効能別にみた漢方薬
4. 漢方を因数分解する
5. 医療保険と歯科疾患
6. 練習問題

歯科漢方

ポケットブック

柿木保明 著
スタディーグループ1986 企画

永末書店

歯科漢方ポケットブック

著 柿木保明 企画 スタディーグループ 1986

歯科診療のための漢方薬ガイド!

近年、歯科診療に漢方薬治療が役立つ疾患や症状が増えています。漢方薬の複雑多様な作用機序が解明され、西洋薬と併用される機会も多くなり、治療法選択の一つとして漢方薬治療を知っておくことは患者のためにも有益です。

本書は実際の歯科診療に漢方薬を取り入れることができるように、疾患別に主な製剤と処方例について解説しています。

これから漢方薬治療を始める歯科医師必見の一冊。

■ B6判 ■ 108頁 ■ 定価 (本体3,000円+税) ■ ISBN 978-4-8160-1277-8



新版 日本歯科用医薬品集

編 一般社団法人 日本歯科薬物療法学会

歯科で使われる医薬品を網羅した類のない一冊!

- ・薬剤ごとに、商品名・効能・禁忌・副作用などの情報を掲載。臨床の現場ですぐに役立つ。
- ・きめこまやかな投薬のために知っておくべき、有病者・高齢者・妊婦・小児について詳説。
- ・常用薬物との相互作用が一目でわかる表を掲載。「?」と思ったらまずチェック!
- ・薬剤名・商品名をすべて掲載した使いやすい索引付き。

最新情報を反映した、待望の最新版! 今回の改訂では、歯科領域で多く使用される薬剤の中に、「抗凝血薬・抗血小板薬」、「骨粗鬆症治療薬」、「糖尿病用薬」を追加。また、新たに「歯科領域で使われる医薬部外品・口腔化粧品・食品」の章を追加し、主に保湿剤(口腔ケア用品)関連を掲載。医薬品使用に関する資料として、以前にも増して充実した内容。歯科医療関係者必携の実用書。

■ B5判 ■ 464頁 ■ 定価 (本体6,000円+税) ■ ISBN 978-4-8160-1280-8

■ ご注文書 クレジットカード・代金引換でのご購入は、オンラインショップをご利用下さい。 <http://nagasueshoten.shop-pro.jp/>

●ご注文書		ご注文の際は、別途送料がかかります。また代金引換の場合、代引手数料がかかります。	
歯科漢方医学	冊	新版 日本歯科用医薬品集	冊
歯科漢方ポケットブック	冊		冊
ふりがな お名前	TEL	—	—
	FAX	—	—
ご住所 〒	FAX:075-415-7290		
	TEL:075-415-7280		
	E-mail:order@nagasueshoten.co.jp		
<small>ご記入いただいた個人情報は、弊社の個人情報保護方針に則り厳重に管理し、第三者への提供や社外への業務委託は行いません。</small> <small>お取次店経由でご注文される際は、こちらをお渡し下さい。</small>			